

文書が映す安曇野の文化⑩ 江戸時代の住居(民家)を探る「〇〇家文書」

文書館には、民家の長持(ながもち)や筆筒(たんす)、行李(こうり)などに大切に保存されてきた「〇〇家文書」と呼ばれる文書群が120件(点数約66,000点)保管されています。その中で燻蒸、撮影、目録作りなどの資料整理が済み、所有者の方から寄贈寄託の申請を受けた文書群数は、今年4月末現在80を数えます。そして当館のホームページに「資料目録」として公開されています。信州大学工学部建築学科梅干野研究室では、令和3,4年度に畠山紗英氏が『矢花家文書』、原田裕成氏が『大庄屋関氏文書』を調査し、修士論文として発表しています。畠山氏は、民家の古材流通の仕組みや流通の背景について考察しています。原田氏は、間取りの復元を行い鍵座敷型民家の成立背景を明らかにしています。それぞれのお宅で大切にされてきた古資料が歴史的な価値を持つ文化資料(財産)となります。古文書等の地域資料をお持ちの方は、是非文書館に声をかけてください。1点2点の資料でも結構です。負担をかけることになるのかもといった心配も不要です。今、古文書はちょっとしたブームになっています。自宅で眠っている資料に光を当ててみてはいかがでしょうか。

立岩右右衛門宿 夫足軒老人
目加田次郎左衛門宿 下人三人
御本陣合三拾五間 下人三人
一長拾間三尺横四間 半次郎
上八畳敷 天井共二なし
下八畳敷 天井共二なし
湯殿せんちん(雷隠)なし



「大庄屋関氏文書」番号139(安曇野市文書館)

令和5年度後期企画展等の予定

●後期企画展

「古文書に見る江戸時代の安曇野II」(仮)

【期間】 9月10日(日)～12月28日(木)

・関連講演会

【日時】 10月22日(日) 13:30～15:00

【講師】 国文学研究資料館教授 西村慎太郎氏

・関連講座① 「里山の観音信仰」(仮)

【日時】 9月24日(日) 13:30～15:00

【講師】 教育委員会文化課

博物館担当係長 逸見大悟

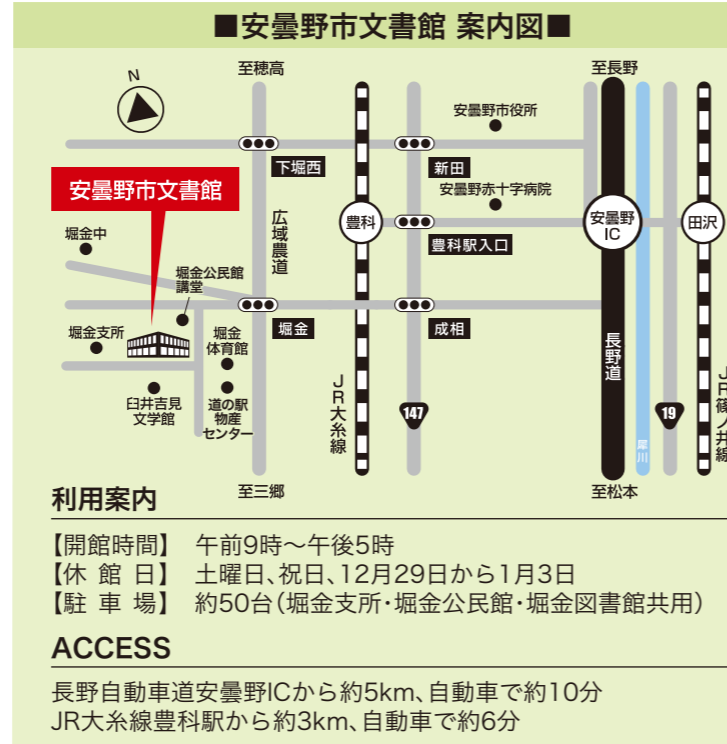
・関連講座② 「在方から見る松本大変」

【日時】 11月19日(日) 13:30～15:00

【講師】 安曇野市文書館職員 丸山潔

●バックヤードツアー ～文書館って何するところ～

【日時】 令和6年2月25日(日) 13:30～15:00



あとがき 5年前です。9月30日(土)開館記念イベント講演会、10月1日(日)開館イベントは、台風24号の接近が予想され、中止及び延期となりました。大荒れのスタートとなった当館ですが、市民を始め多くの利用者、関係する皆様の力添えを得て、本年開館5周年を迎えることになりました。厚く感謝申し上げます。今回の記念企画は、その成果と今後の課題を皆さんと共有する機会です。ちなみに、当館設立のモデルとなった松本市文書館は、平成10(1998)年10月1日に開館しました。開館行事は、大雨により中止となっています。ご縁を感じます。

安曇野市 文書館だより

第10号



前期企画展

安曇野市文書館開館5周年記念『残した 伝えた この5年』

企画展趣旨

平成30(2018)年10月1日に開館した安曇野市文書館は、今年開館5周年を迎えます。この5年間のあゆみを①収集、②保存利用、③普及啓発、④調査研究の視点で振り返り、市民の皆様の文書館への関心をより一層深めるとともに、安曇野市が文書館を持つことの意味や課題について理解を広める機会とします。

令和5年3月末現在146,405点(公文書67,231 地域資料79,174)を数える収蔵資料の中で、地域の情報誌として発行してきた広報紙や刊行物を展示し、安曇野地域の近現代の政治や生活、文化についての理解を深めます。

期 間：令和5年5月14日(日)～8月31日(木)

会 場：安曇野市文書館1階閲覧コーナー

入館料：無料



令和元(2019)年11月14日・15日に第45回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)全国大会が安曇野市で開催されました。全国から文書管理に関係する皆さん258人が集い「文書館をつくる～市町村が拓くアーカイブズ活動～」を大会テーマに研修会が行われました。全国で屈指の数を誇る自治体アーカイブエリアである長野県がもつ文化を存続させる力やノウハウを全国に発信する機会となりました。

講演会「歴史公文書はなぜ残すことが重要なのか ～安曇野市文書館史料から考える～」

【開催日時】 6月18日(日) 午後1時30分～午後3時(開場 午後1時)

【講 師】 瀬畑 源 氏(龍谷大学法学部准教授)
(長野県公文書審議会委員、安曇野市文書館運営審議員)

講 座「安曇野を“残して伝える”」

【開催日時】 5月21日(日) 午後1時30分～午後3時(開場 午後1時)

【講 師】 中島 博昭氏(地域史家)

研究発表会「文書館収蔵資料を活用した事例報告 ～『家屋建坪調査帳』・『青年学校資料』～」

【開催日時】 7月23日(日) 午後1時30分～午後3時(開場 午後1時)

【発表者】 信州大学工学部梅干野研究室
平沢 重人(文書館館長)

<講演会、講座、研究発表会>

参加費 無料

事前申込 必要

申込方法 電話、FAX、メール

会場：安曇野市堀金公民館講堂

○講演会、講座：4月24日(月)から

○研究発表会：5月29日(月)から

受付開始



安曇野市文書館

安曇野市文書館だより 第10号 編集・発行 安曇野市文書館 発行日：令和5年5月20日発行
 〒399-8211 長野県安曇野市烏川2753番地1 TEL.0263-71-5123 FAX.0263-71-5127
 E-MAIL bunshokan@city.azumino.nagano.jp URL www.city.azumino.nagano.jp/site/bunsho/

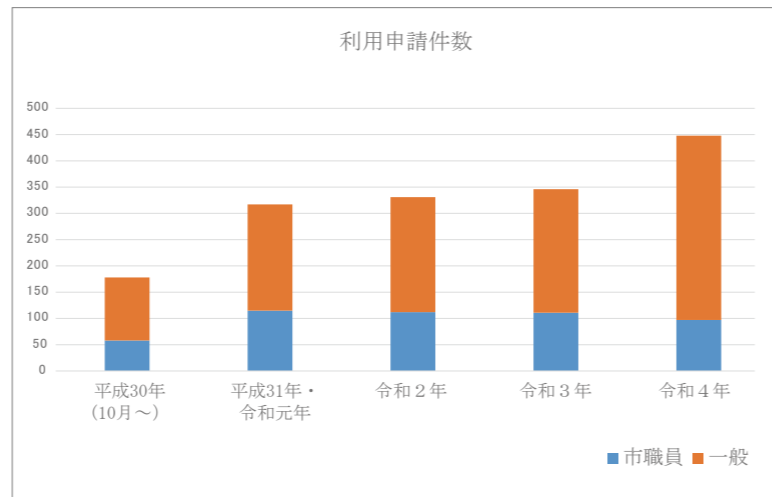
数字で見るこの5年

長野県内には、市町村立文書館が7館あります。その中で所管が教育委員会となっている施設は、当館を含め3館です。「安曇野市文書館条例」第1条に「市の教育、学術、文化及び生活の発展に寄与するため、安曇野市文書館を設置する」とあります。当館が、教育委員会文化課博物館担当の所管となっている根拠です。今号では、この設置目的の評価として文書館利用者の推移について紹介します。

1 資料利用件数

収蔵資料の利用（閲覧、撮影）件数について紹介します。当館では、資料を利用するためには、利用申請が必要です。市職員と一般の方とを併せた総利用申請件数は、年々増加しています。特に一般の方の伸びが顕著です。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、3月には大学の研究者が多く来館されました。「安曇野市域全体の学校資料が揃って閲覧できる。他市にはない。」との評価をいただきました。

市職員の利用も年間100件前後で推移しています。担当課職員が市政や市民への対応に文書館が活用されていることの表れと考えられます。

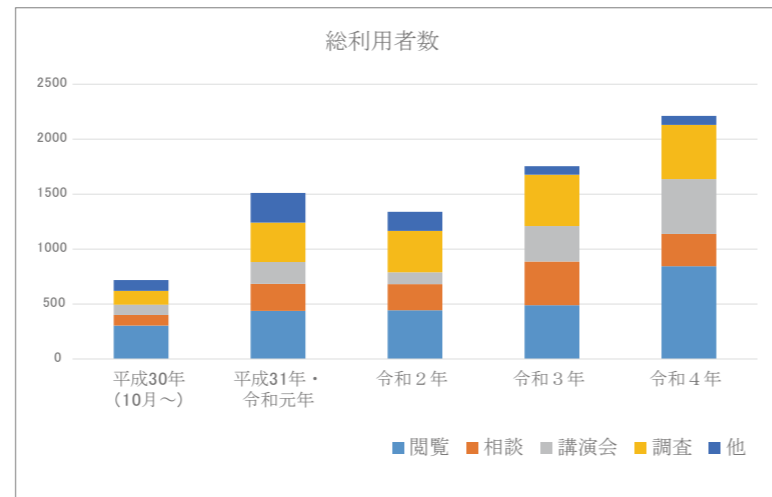


2 総利用者数

閲覧者以外に資料にかかわって相談された方や講演会に参加された方、調査活動に参加された方などの総数を見ると、当館利用者の全体が見えます。

令和元年は、当館を中心に文書館の全国大会(全史料協安曇野大会)が開催されました。その関係で視察や研修での来館者数(「他」でカウント)が多くなっています。

令和2年度が減少しているのは、新型コロナウイルス感染症対策により、講演会や古文書などの地域資料の調査活動を縮小したことによるものです。令和4年度特に増えた要因は、①ミュージアムカード(天下布武)のリクエストのため、②後期の企画展「安曇野から平和を思う～上原良司生誕100年～」参観のためです。資料目録はホームページからの閲覧が可能ですので、最近は大学を含め、県外の研究者の方からの相談も多くなってきました。令和3年度は相談件数が増加しています。新型コロナウイルス感染症の流行により来館することができないため、電話等による問い合わせが増加したのではないかと考えられます。



次回の文書館だよりNo.11では、収蔵資料数の推移について紹介します。

安曇野に古文書(こもんじょ)ブーム到来!?

「古文書」と聞くと、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。掛け軸でしょうか。絵図でしょうか。それとも、歴史の教科書に載っているような有名人が書いた手紙でしょうか。または博物館に展示されている資料の一つだと思ふ方もいらっしゃるかもしれません。

普段、古文書に触れる機会は中々ありません。そして、いざ博物館などで目にしても、少しとっつきにくく、「何と書いてあるかわからない」という感想を持たれる方が多いかと思えます。一方で、「自分で読んでみたい」、「読んでみたいけどどうすればいいかわからない」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そんな小難しい印象のある古文書ですが、今、安曇野に古文書ブームが来ているかもしれません。

安曇野市文書館では、令和3年度より「ここから始める古文書解読『読んでみよう、くずし字』講座」を開催しており、古文書(くずし字)を初めて読む人を対象とした初心者向けの内容となっています。この講座ですが、毎回、定員を超える応募が集まっています。参加者募集について地元紙に掲載されると、すぐに定員となってしまいます。さらに、市内はもちろんのこと、近隣の市町村からも申し込みがあることから、関心の高さがうかがえます。

また、講座を開催するにあたり、安曇野市域の古文書を使ったオリジナルテキストを作成しました。このテキストは講座で使用するほか、一般向けに販売も行いました。一度完売してしまいましたが、令和5年2月に再販したところ、こちらも数日で完売となりました。

どちらの出来事も当館の予想以上の反響があり大変ありがたいと思うのと同時に、古文書に興味を持っている方がたくさんいるのだと実感しました。こういった声に応えられるよう、文書館では今後も様々な取り組みを行っていく予定です。

また文書館には、安曇野市域に関する様々な古文書が収蔵されています。調査・研究以外にも、古文書を読む練習として文書館の資料を使っていただければと思います。自治体誌や古文書の辞書、参考資料もありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

安曇野に来た古文書ブーム。古文書を読んでみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひこのブームに乗って、一緒に古文書を読んでみませんか。文書館の講座が皆様の学びの「第一歩」となれば幸いです。

令和5年度 ここから始める古文書解読「読んでみよう、くずし字」講座

- 日 程 (予定)
令和5年10月～11月の月曜日(全5回) 午前10時～正午まで
- 会 場 安曇野市文書館2階講義室
- 参加費 500円(テキスト代)
- 申込方法
8月頃に市ホームページ及び広報あづみのでお知らせします。

※講座テキストについて、一般販売用は **完売** いたしました。
ご覧になりたい方は、文書館の閲覧コーナーでご覧いただけるほか、市内図書館でも貸出を行っていますのでご利用ください。



講座テキスト目次	はじめに・本テキストのルール
1	江戸時代の住民登録①
2	江戸時代の人の移動
3	江戸時代の租税制度
4	江戸時代の物の移動
5	江戸時代の住民登録②
6	江戸時代の用水管理
	演習・宿題 回答集